

# 中学校外国語科学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校  
教諭 〇〇 〇〇

- 1 日時・場所 平成26年11月〇日 (〇)
- 2 学年・対象 第1学年〇組
- 3 単元名 SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 My Project 2 人を紹介しよう
- 4 単元設定の理由

## ○ 教材観

本単元では、3人称単数現在形、すべての人称代名詞、疑問詞、助動詞 can を含めた既習事項を活用して、人を紹介するスピーチを行う。

人物紹介文を書き、それをスピーチとして発表することは、生徒にとって緊張感が高まる活動であるが、スピーチを行うまでの準備段階の取組を含めた一連の取組（スピーチ活動）は、個々の技能を高めるだけでなく、4技能を総合的に育成する活動と考えることができる。つまり、スピーチの形式や表現について、人を紹介した英文を読むことで学び(reading)、その知識を生かしてスピーチ原稿の作成につなげることができる(writing)。さらに、スピーチそのものやスピーチ練習を行うことで、speaking の力を育み、他の生徒のスピーチを聞いてその内容を理解しようとすることを通して、listening の力の向上を図ることも可能である。

またスピーチ活動を通して、生徒たちに自分の思い、考えや伝えたいことを英語で表現させたり、相手に伝わる喜びを感じさせたりすることで、今後さらに表現する意欲を喚起することも期待できる。

## ○ 生徒観

本校の生徒のほとんどは、同じ小学校から入学してくる。そのため、生徒達の人間関係が固定している面もあるが、男女間の仲も良く、コミュニケーション活動などはお互いに聞き合い、教え合うことなどが出来る。また、前向きに頑張ろうという意欲も見られる。

一方で、英語に限らず、学習自体に苦手意識をもっている生徒が多く、アルファベットの定着にまだ時間を要する生徒もいる。それらの生徒たちは、つまずきを感じていることから、学習意欲の低下が見られる。しかし、ドリル学習や繰り返し学習を継続して行わせたり、学んだことを使って英語で表現できる喜びを感じさせたりすることにより、表現することに対して少しずつ自信をもち、抵抗感が徐々になくなってきている生徒もいる。

## ○ 指導観

以上のことから、本単元においては、活動内容を工夫することにより、英語で表現することがさらに楽しいと感じられ、これまで以上に自信をもって表現できるような生徒を育成したい。

具体的には、以下の四つの工夫を行う。

- (1) ウォームアップのためのベルトアクティビティの活動を工夫する
- (2) 自分の考えを話すことに必然性を感じるような場面、状況の設定を工夫する
- (3) 一つ一つの活動の意味（何のために行うのか）を意識させるような指導を工夫する
- (4) スピーチ活動の取組手順（五つのステップ）を意識したスピーチ活動に取り組む。

(2)については、My Project 1 の単元で、イギリスに帰国した〇〇先生に、自己紹介のスピーチを収めたビデオレターを送る取組を行った。今回の単元 My Project 2 でも交流を継続し、自分の紹介したい人を〇〇先生にスピーチする活動を行う。指導の際には、聞き手に分かりやすいスピーチを行うことを意識させるようにする。

(4)については、一般的なスピーチ活動の取組手順（原稿の「作成」「練習」「発表」という三つのステップ）よりきめ細かい取組手順（①「構想（テーマ設定）」②「配列（文の選択）」③「修辞（言葉選び）」④「記憶（暗記）」⑤「所作（身ぶりを含めた発表練習）」の五つのステップ）を意識したスピーチ活動に取り組む。

- ① スピーチ活動を行う目的意識をしっかりとせ、テーマ設定を行う（構想）
- ② 導入・本文・結びを意識した文の並びを日本語で考えさせる（配列）
- ③ 考えたスピーチ原稿を英文にし、生徒同士で原稿を交流する（修辞）
  - ※ 自分自身の原稿作成の修正にも役立たせる。
- ④ 聞き手を設け、相手を意識した音読練習を繰り返し行う（記憶）
  - ※ 音読のバリエーションを増やすことで、棒読みでなく自分の言葉で言えるような練習を行い、speaking力を鍛える。
- ⑤ 自分がスピーチをしている姿をビデオで見て客観的に分析させることを通して、より聞き手に伝わるようなスピーチになるよう工夫させる（所作）
  - ※ 声の大きさやイントネーションの付け方、間のとり方、スピードの変化や音声の高低、アイコンタクトのとり方、ジェスチャー等について指導を行うことで、より相手に分かりやすく伝えることのできるスピーチを行えるようにする。

## 5 単元の目標

- ・ 与えられたテーマについて、自分の考えなどをまとまりよく話す。
- ・ まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取る。
- ・ スピーチ原稿の作成・修正に積極的に取り組む。
- ・ 間違ふことを恐れず、積極的に自分の考えなどを話す。
- ・ 身振り手振り、知っている語句や表現をうまく利用して自分の考えなどを話す。
- ・ 3人称単数現在形を用いた文の構造を理解する。

## 6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① スピーチ原稿の作成・修正に積極的に取り組んでいる。 （書くこと） ② 間違ふことを恐れず積極的に自分の考えなどを話している。 （話すこと） ③ 身振り手振り、知っている語句や表現をうまく利用して自分の考えなどを話している。 （話すこと）	① 与えられたテーマについて、自分の考えなどをまとまりよく話すことができる。 （話すこと）	① まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ることができる。 （聞くこと）	① 3人称単数現在形を用いた文の構造を理解している。 （書くこと）

## 7 指導計画

時	学習内容	主な評価規準	評価方法
1	○ ウォームアップ（ベルトアクティビティ） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ chants</li> <li>・ ひろしま型カリキュラム繰り返し学習用教材</li> <li>・ ペア活動</li> <li>・ Reading</li> <li>・ 小スピーチ活動</li> </ul> ○ 本単元で行う活動や身に付ける技能を知る。スピーチについて理解し、分析する。		

2	○ ウォームアップ（ベルトアクティビティ） （第1時と同じ） ○ スピーチ内容を整理し，配列する。		
3	○ ウォームアップ（ベルトアクティビティ） （第1時と同じ） ○ スピーチ原稿を英語で書く。	アの①	活動の観察
4	○ ウォームアップ（ベルトアクティビティ） （第1時と同じ） ○ 英語で書いたスピーチを友だち同士で確認し，修正する。	アの①	活動の観察
5	○ ウォームアップ（ベルトアクティビティ） （第1時と同じ） ○ スピーチを音読，暗唱練習をする。		
6	○ ウォームアップ（ベルトアクティビティ） （第1時と同じ） ○ スピーチを行っている自分の姿を客観的に見て分析，工夫する。 ○ 聞き手を設けて，スピーチの所作を工夫しながら発表練習を行う。	アの② アの③	活動の観察 活動の観察
7	○ スピーチ発表	アの②，アの③ イの①	スピーチ発表
後日	<ペーパーテスト> ◇ スピーチを聞いて，概要や要点を聞きとれているかをみるリスニング問題 ◇ 3人称単数現在形を用いた文の構造についての理解をみる問題	ウの① エの①	ペーパーテスト ペーパーテスト

## 8 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・ 聞き手を設けて，スピーチの所作を工夫しながら発表練習を行う。

### (2) 本時の評価規準と具体的な生徒の姿

観点	評価規準	具体的な生徒の姿
ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	② 間違うことを恐れずに積極的に自分の考えなどを話している。 ③ 身振り手振り，知っている語句や表現をうまく利用して自分の考えなどを話している。	・ 間違いを恐れずに，自分が考えて用意したスピーチ原稿を使って，相手に伝えるために表現しようとしている。 ・ 声の大きさ，ポーズ，スピードの変化，声の高低，アイコンタクト，ジェスチャーなど体の動きを工夫しながら，相手を意識して話している。

### (3) 準備物

教科書・大型TV・ワークシート・生徒用タブレット

学 習 指 導 過 程			
時 間	学習内容	指導上の留意点	評価規準 (方法)
25分	1 ウォームアップ (ベルトアクティビティ) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ あいさつ</li> <li>○ 今月の歌</li> <li>○ chants               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チャンツのリズムに合わせて発音する。</li> </ul> </li> <li>○ ひろしま型カリキュラム繰り返し学習用教材</li> <li>○ ペア活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語で答えるドリル練習をペアで行う。</li> </ul> </li> <li>○ Reading               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとまった内容の文章を読解し、その概要をつかむ活動を行う。</li> </ul> </li> <li>○ 小スピーチ活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5文程度の人を紹介する簡単なスピーチを行い、Q&amp;A を行う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リズムに合わせて繰り返し発音することで、チャンツの表現を身体で自然に覚えられるようにする。</li> <li>・ 大型テレビの画面で答えを確認させることで、時間の短縮を図る。</li> <li>・ アイコンタクトしながら相手と対話をしていることを意識して答えるように促す。</li> <li>・ 訳すのではなく、内容 (あらすじ) を読み取り、ペアで簡単に説明できるようにさせる。</li> </ul>	
22分	2 展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スピーチを行う際の留意点の確認 (復習)</li> <li>○ 自分及び他者のスピーチの姿を客観的に分析               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時に録画したスピーチをしている自分及び他者の姿を視聴し、客観的に評価する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スピーチを行う際に気を付けること (相手に伝わるように、声の大きさ、ポーズ、スピードの変化、声の高低、アイコンタクト、ジェスチャーなど) を意識できるようにする。</li> <li>・ 客観的に自分のスピーチを評価して所作を改善したり、他者にアドバイスをしたりするなど、より良いスピーチにしていけるようにさせる。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">聞き手を設けて、スピーチの所作を工夫しながら発表練習をする。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発表練習               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞き手を設けてペアで練習する。</li> </ul> </li> <li>○ 発表               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなの前で数人自分のスピーチを発表する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 声の大きさ、ポーズ、スピードの変化、声の高低、アイコンタクト、ジェスチャーなど体の動きを工夫しながら練習させる。</li> <li>・ 聞き手から発表者に、スピーチの内容がよりわかりやすくなるようなアドバイスをさせるようにする。</li> </ul>	アの② (活動の観察)  アの③ (活動の観察)
3分	3 まとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己評価表への記入               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の内容の確認と振り返りをする。</li> </ul> </li> <li>○ あいさつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己評価表に本時の振り返りをさせるとともに、英語で書くことに慣れさせる。</li> </ul>	